

## 令和4年度第1回自立支援協議会権利擁護部会 議事要旨

1. 開催日時 令和4年8月25日(木)午後2時～午後4時
2. 開催場所 市役所4階 会議室S2・3(オンラインと併用)
3. 出席者 (委員)\*団体名のみ記載  
(福) パーソナル・アシスタンスとも、浦安市社会福祉協議会  
浦安市視覚障害者の会トパーズクラブ、浦安市聴覚障害者協会、浦安手をつなぐ親の会  
(福) 敬心福祉会、(福) サンワーク、(特非) あいらんど、(福) 千楽、(特非) フレンズ、中核地域生活支援センターがじゅまる、千葉県市川健康福祉センター  
中央地域包括支援センター、健康増進課  
(事務局) 障がい事業課、障がい福祉課

### 4. 議事次第

1. 開会
2. 議題
  - (1) 令和4年度の自立支援協議会について
  - (2) 令和3年度第3回権利擁護部会の振り返りについて
  - (3) 浦安市における「8050問題」実態把握調査について
  - (4) その他
3. 閉会

### 5. 配布資料

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 議題(1)資料1  | 令和4年度浦安市自立支援協議会について          |
| 議題(1)資料2  | 令和4年度自立支援協議会スケジュール           |
| 議題(1)資料3  | 浦安市の課題と解決に向けて                |
| 議題(2)資料   | 令和3年度第3回権利擁護部会 報告            |
| 議題(3)資料1  | 浦安市における「8050問題」実態把握調査について    |
| 議題(3)資料2  | 8050問題に関する実態把握調査票            |
| 議題(3)資料3  | 浦安市における「8050問題」実態把握 調査回答集計   |
| 議題(3)当日資料 | 浦安市における「8050問題」実態把握 プレ調査回答集計 |

### 6. 議事概要

- (1) 令和4年度の自立支援協議会について

#### ■説明(事務局)

令和4年度の自立支援協議会の概要、浦安市の課題と解決に向けた各部会の協議内容等について説明した。

## ■主な意見

特になし

(2) 令和3年度第3回権利擁護部会の振り返りについて

## ■説明（事務局）

「8050 問題」実態把握調査の本調査前に実施したプレ調査の結果報告及び委員からの主な意見について振り返った。

## ■主な意見

特になし

(3) 浦安市における「8050 問題」実態把握調査について

## ■説明（事務局）

「8050 問題」実態把握調査について、調査先・内容・期間、活用方法等についての説明を行った。

## ■主な意見（リーダー：リ、委員：委、事務局：事）

委：調査先に障がい者就労支援センターや障害者就業・生活支援センターいちされんを追加するべきでないか。

委：調査対象において就労してないことに限定されないほうがよいのではないか。

委：ひきこもりの定義に該当しない方でも自立の難しい方がいる。そういった方が地域でいかに暮らしていくかについても検討の必要がある。

委：経済的に自立していない状態の背景が見えれば今後の対策のきっかけとなるかもしれない。

委：市のかかえている問題をいかにあぶりだすかが重要。問題への取り組み方は難しいが意義のある調査である。

リ：サービスにつながっている方等、今回の調査の対象外でも気になる方はいる。今回の「8050 問題」については厚生労働省が出している定義に則しているため、今回の調査についてはこの定義に則り実施する。

委：「8050 問題」は見えにくい問題であるため、今回の調査で見え方や考え方に変化があれば実施した意義が出てくる。見えてくる問題への取り組み方への1つのきっかけとしていきたい。

委：「8050 問題」の一番の課題は、どのように支援していくかの難しさである。本人に困り感がないことにより支援の仕方が難しい。本調査結果によりまず知ること。これを他部会とも共有していき、他の部会とも連携して問題解決に向かうべきである。

委：対象者の若い内の介入の必要性について、問題の生じる前段階での支援、介入を検討していく必要があるのではないか。今後若い世代についても調査が必要なのではないか。

委：ひきこもり状態でなくても就労できず、親に経済的に依存しているケースが見られる。外から見て問題がわからないケースが多い。本調査に該当する家庭の構成、形態という情報の蓄積ができれば直接的でなくても調査の意義があるのではないか。

委：親が安心して子供に伝えられるような社会づくりが求められる。そのためには 8050 以前の 7040、6030 の段階での係わり方を考えていく必要がある。

委：地域社会への福祉の関わり方、福祉の意義を考え直す機会になるのではないか。

委：調査をすることで一般的な「8050 問題」と比較してどれだけ地域特性が露出し、浦安市ならではの問題を見出し、共有できるかが重要である。

委：「8050 問題」については、問題が表面化するまで現状としてなにも対応できないケースが多く、気付いた時には手遅れのことが多い。予防的な視点、問題の啓発に調査結果をつなげるべきである。

リ：問題に対する多領域の対応を作り、当事者との予防的な関わりにつなげ、当事者の潜在的な困り感をいかに拾っていくために、次回の部会で本調査結果の活用方法を検討していきたい。

#### （4）その他（委員や事務局からの報告事項）

##### ■説明（事務局）

8050 問題の結果については他の部会とも共有する旨について説明した。

##### ■主な意見

特になし。